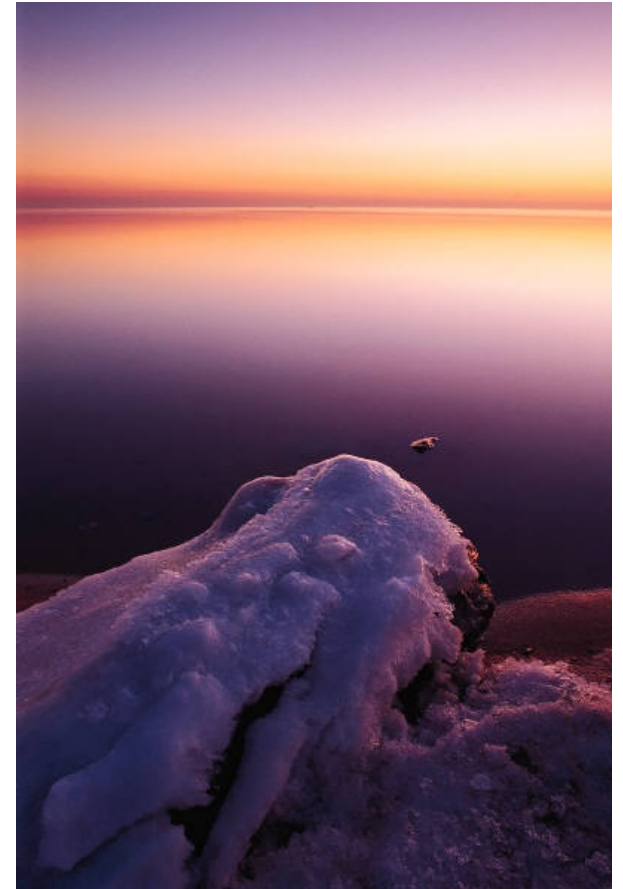


インマヌエル中目黒キリスト教会  
2012年1月15日  
聖日礼拝

教会総会に向けて  
「神の御住まいである教会」  
エペソ人への手紙2章11-22節  
竿代 照夫 牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

エペソ人への手紙2章11-22節

11 ですから、思い出してください。  
あなたがたは、  
以前は肉において異邦人でした。  
すなわち、肉において  
人の手による、  
いわゆる割礼を持つ人々からは、  
無割礼の人々と呼ばれる者で  
あって、

12 そのころのあなたがたは、  
キリストから離れ、  
イスラエルの国から除外され、  
約束の契約については  
他国人であり、  
この世にあって望みもなく、  
神もない人たちでした。

13 しかし、以前は遠く離れていた  
あなたがたも、  
今ではキリスト・イエスの中に  
あることにより、  
キリストの血によって  
近い者とされたのです。

14 キリストこそ私たちの平和で  
あり、二つのものを一つにし、  
隔ての壁を打ちこわし、

**15 ご自分の肉において、  
敵意を廃棄された方です。  
敵意とは、さまざまの規定から  
成り立っている  
戒めの律法なのです。  
このことは、  
二つのものをご自身において  
新しいひとりの人に造り上げて、  
平和を実現するためであり、**

16 また、両者を一つのからだとして、十字架によって神と和解させるためなのです。  
敵意は十字架によって葬り去られました。

17 それからキリストは来られて、遠くにいたあなたがたに平和を宣べ、近くにいた人たちにも平和を宣べられました。

18 私たちは、

このキリストによって、  
両者ともに一つの御霊において、  
父のみもとに近づくことが  
できるのです。

19 こういうわけで、あなたがたは、  
もはや他国人でも寄留者でも  
なく、今は聖徒たちと同じ国民  
であり、神の家族なのです。

**20 あなたがたは使徒と預言者と  
いう土台の上に建てられており、  
キリスト・イエスご自身が  
その礎石です。**

21 この方にあって、  
組み合わされた建物の全体が  
成長し、  
主にある聖なる宮となるので  
あり、

22 このキリストにあって、  
あなたがたもともに建てられ、  
御霊によって  
神の御住まいとなるのです。

# 説教

教会総会に向けて

「神の御住まいである教会」

エペソ人への手紙2章11-22節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「この方にあって、  
組み合わされた建物の全体が  
成長し、  
主にある聖なる宮となるので  
あり、このキリストにあって、  
あなたがたもともに建てられ、  
御霊によって神の御住まいと  
なるのです。」

(エペソ 2 : 21、22)

# はじめに

- ・ キリストのからだのイメージ

(復習) :

一体性、

キリストの主権、

神の力と恵みの充満、

多様性の中的一致、

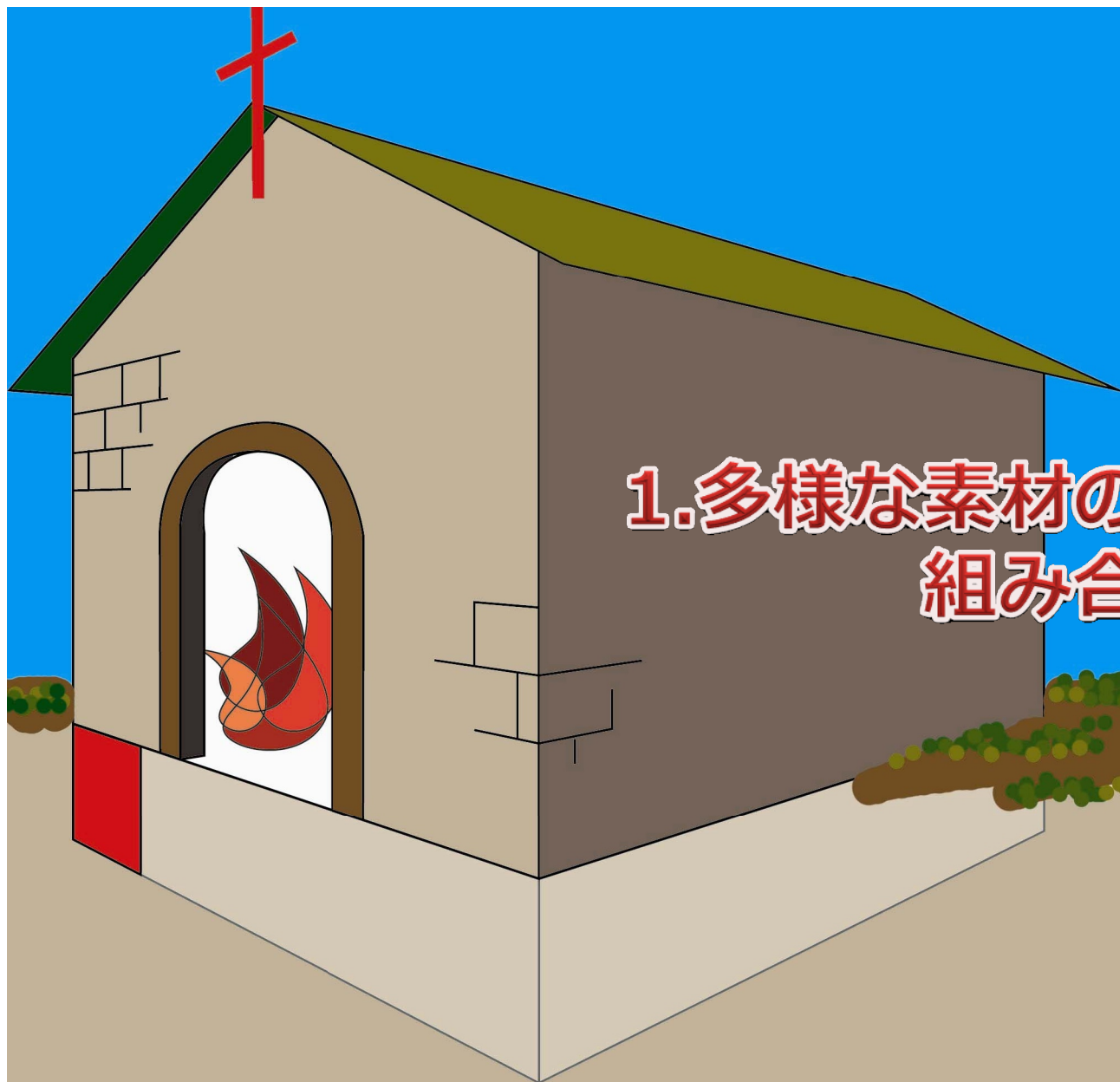
連帯の必要

- 建物に譬えられる教会：

教会 建物

教会 建物

( 1 コリント 3 : 9 )



1. 多様な素材の  
組み合わせ

# 1 . 多様な素材の組み合わせ ( 1 9 節 )

- 異なる人々が家族に：  
( 1 1 - 1 8 節 )

- 支えあう建築素材：( 2 1 節 )



## 2. 聖書の教えが土台

## 2 . 聖書の教えが土台

( 20節 a )

- 使徒たちと預言者たち：  
その教えが土台
- 「聖書のみ」



3.隅の親石は  
キリスト

### 3 . 隅の親石はキリスト

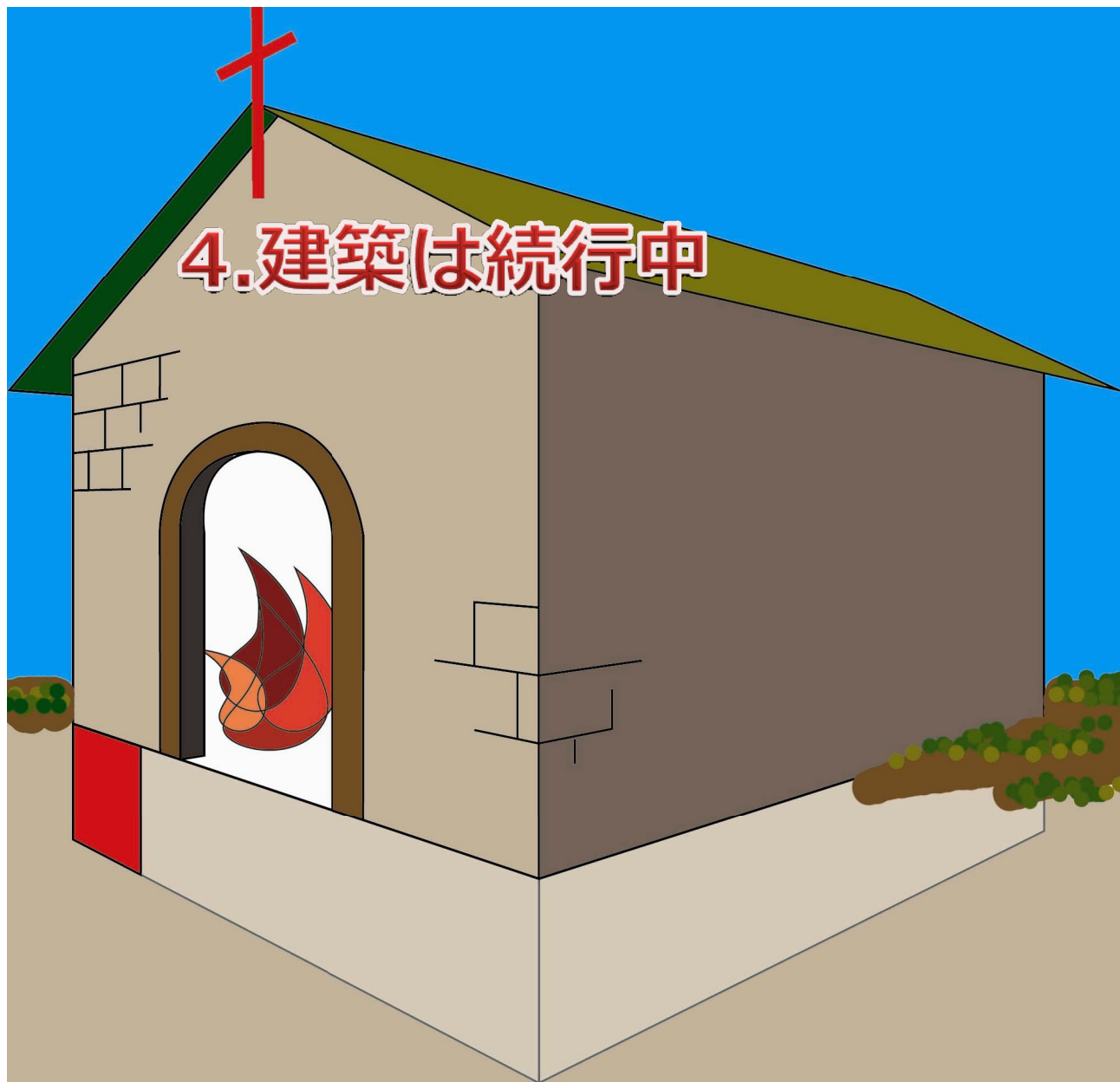
( 2 0 節 b )

- 教えの中心はキリスト

( 1 コリント 3 : 1 1 )

- 信仰の土台もキリスト :

( イザヤ 2 8 : 1 6 、  
詩篇 1 1 8 : 2 2 )



4. 建築は続行中

## 4 . 建築は続行中（ 2 1 節 ）

- 完成の時はない：  
「建物の全体が成長し・・・」
- 「ガウディの会堂」の例：  
1 8 8 2 年から  
2 0 2 6 年まで（？）





- ・ サイズにおいて：  
    共同体の拡大（ 4 : 1 2 ）

- ・ 内容的において：  
    「よりキリストらしく」  
    （ 4 : 1 3 ）



5. 聖霊が  
住み給う

## 5 . 聖霊が住み給う

( 2 1 節 b - 2 2 節 )

- ・ 「御住まい」の意味：  
聖霊が個人に住み、  
個人の集まりである教会に  
住み給う
- ・ 臨在の証：  
すべてが「ここに神はいます」  
と認識する  
( 1 コリント 1 4 : 2 5 )

- 聖さが鍵
- 動力としての愛：  
「愛に根ざし、  
愛に基礎を置いて」  
( 3 : 17 - 19 )

愛の建徳、  
愛の動機、  
愛の機転

おわりに：

神の宮の一部とされた光栄を  
感謝しよう